

## 説明者のプロフィール

おおばやし のぶひこ

大林宣彦氏 (海部地域の日、新城設楽地域の日 1day プロデューサー)

1938年広島県尾道市生まれ。

少年時代に8mmカメラを手に入れ、個人映画の製作を始める。

上京後、画廊・ホール・大学を中心に上映された自主製作がジャーナリズムで高い評価を得る。

16mm第1作「喰べた人」(63)でベルギー国際実験映画祭で審査員特別賞を受賞。

この頃からテレビコマーシャルの草創期に本格的に関わり始め、チャールズ・ブロンソンの「マンダム」、ソフィア・ローレン、カトリーヌ・ドヌーヴなどの外国人スターを多数起用、その数は2000本を超える。

77年「HOUSE」で劇場映画にも進出。同年の「瞳の中の訪問者」と共に、“ブルーリボン新人賞”を受賞。

故郷で撮影された「転校生」(82)「時をかける少女」(83)「さびしんぼう」(85)は「尾道三部作」と称され親しまれている。

その他、主な作品として「ねらわれた学園」(81)「廃市」(83)「彼のオートバイ、彼女の島」(86)「はるか、ノスタルジイ」(92)「あした」(95)「なごり雪」(92)など。

「異人たちとの夏」(88)で“毎日映画コンクール監督賞”、「北京的西瓜」(89)で“山路ふみ子監督賞”、「ふたり」(91)で“アメリカ・ファンタスティックサターン賞”、「青春デンデケデケデケ」(92)で“日本映画批評家賞”“芸術選奨文部大臣賞”を受賞。

第21回日本文芸大賞・特別賞受賞の「日日世は好日」など著書も多数。

2004年春の紫綬褒章受賞。



いとうみつひろ

伊藤光弘氏 (あいち・おまつり広場催事プロデューサー)

1954年 愛知県西春日井郡新川町生まれ、イベントプランナー、

名古屋商工会議所会愛知万博出展参加(モノづくりランド シンフォニア)制作統括ディレクターとしても活躍。